

ACEWELL 多機能デジタルメーター

ACE-325X/395X-XX シリーズ取扱説明書 E13 10R-022812
www.acewell-meter.com 日本語



この度は弊社製品をお求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書はACE-325X/395X-XXシリーズ多機能デジタルメーター用として書かれております。
品番による違いは、ACE-325XはLEDインジケータを省いたタイプ、ACE-395Xは両サイドに4〜8個のLEDインジケータが装備されたプラスチック筐体のタイプ、ACE-395X-XXシリーズはインジケータ付きのアルミ削り出し筐体のタイプです。枝番の違いにより装備されるインジケータの種類が異なります。
本説明書で使用している図はお客様のメーターと異なる場合がありますが読み替えていただきますようお願いいたします。

パネル説明

1. タコメーター目盛
2. タコメーター表示
3. 1行目: スピード表示(現在・最高)
4. 2行目: その他機能の表示
5. RESETボタン
6. MODEボタン
7. 燃料計表示
8. 温度計表示
9. シフトワーニングLED
10. 温度警告LED

左ウィンカー/緑	オイル警告灯/赤
ハイビーム/青	N ニュートラルランプ/緑
右ウィンカー/緑	R リバースギアランプ/緑
ハザードランプ/赤	D ドライブランプ/緑
P 駐車灯/緑	エンジン温度警告灯/赤
ウィンカー/緑	リアフォグランプ/橙色
リアウィンカー/緑	エンジン停止警告灯/赤

特色

- ディスプレイはタコメーター、スピードメーター、バーグラフ水温(または油温)計、バーグラフ燃料計と、他1機能の値を同時に表示可能。
- バーグラフタコメーターの最大表示回転数はエンジン特性に合わせて8,000rpmまたは16,000rpmに切替が可能。
- オドメーターは総走行距離30km未満の場合に限り、ユーザーによる任意値への調整が可能。
- 筐体には4〜8個のLEDインジケータランプを内蔵。(ACE-325Xシリーズを除く)
- 燃料計のフューエルセンサー抵抗値は100Ω、250Ω、510Ωに切替が可能。
- 速度センサー入力、リードスイッチ、ホールセンサーなど多様なセンサー(弊社製)に対応。
- 取付ステー、点火信号センサー線、速度センサー、温度センサー、ワイヤーハネスを標準添付。
- 防水性、耐震性(10G)、耐衝撃性(100G)のテストをクリア。

仕様

機能	記号	規格	最小単位
タコメーター		250-8,000rpm又は 500-16,000rpm	250rpm / 500 rpm
デジタルタコメーター	RPM	100-19,900rpm	100 rpm
最高回転数表示	MAX RPM	100-19,900rpm	100 rpm
デジタル温度計	℃/F	+50℃-180℃/122-356°F	1℃/F
スピードメーター		2.4-399.9km/h (248.5MPH)	0.1 KM/H or MPH
最高速度表示	MAX	2.4-399.9km/h (248.5MPH)	0.1 KM/H or MPH
平均速度表示	AVG	2.4-399.9km/h (248.5MPH)	0.1 KM/H or MPH
走行距離メーター1&2	TRIP 1&2	0.0-999.9 Km (624.9 Miles)	0.1 Km or Miles
総走行距離計	ODO	0-999999 Km (0.0-624999 Miles)	1 Km or Miles
ライティングタイム	RT	0.00'00"-99:59'59"	1 秒
トータルタイム	TT	9999H59'	1 分
時計		0.00'00"-24:59'59"	1 分
デジタル電圧計	V	8.0-25.0V	0.1V
バーグラフ温度計		7 段階表示	
バーグラフ燃料計		8 段階表示	
最高温度表示	MAX °C/°F	+50℃-180℃/122-356°F	1℃/F

電源電圧 直流12V

エンジン回転信号: CDIまたはイグニッションコイル信号

スピードセンサー: リードスイッチ、ホールセンサー

温度センサー: サーモセンサー

タイヤ外周長: 1mm-3999mm

外形寸法 130x78x30.5mm(ACE-395X-XX)

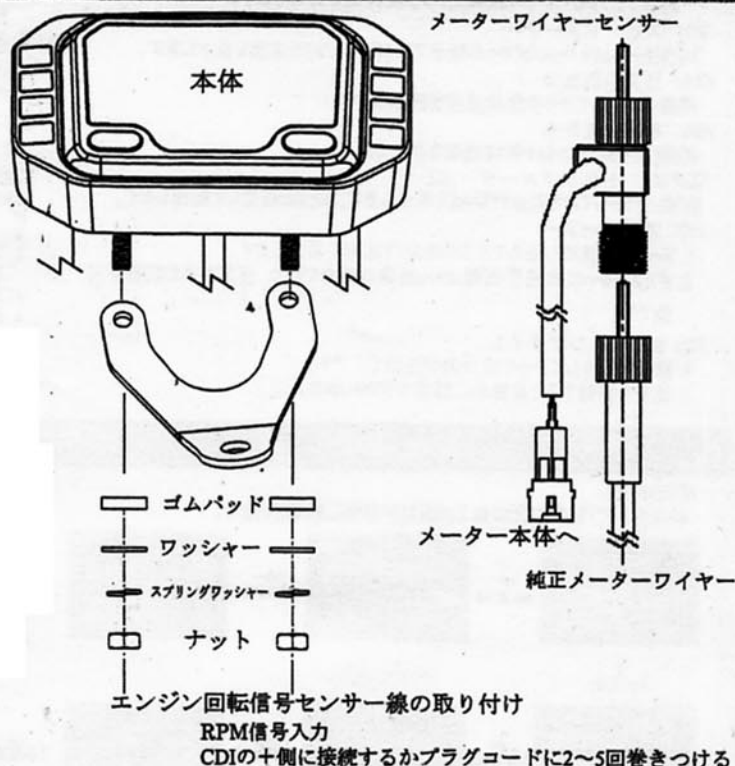
125x78x28.5mm(ACE-395X/396X)

95.2x72x27mm(ACE-325X)

動作可能温度: -20℃ - +80℃(筐体内温度)

保存温度: -30℃ - +90℃(筐体内温度)

取り付けと付属品



CDIの+側に接続するかプラグコードに2〜5回巻きつける

2-5巻

CDI

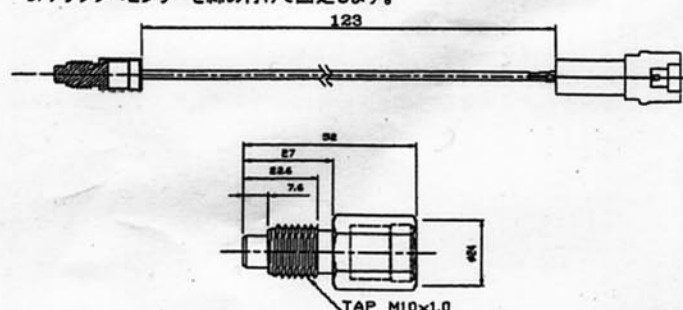
イグニッションコイル

1. センサー線をイグニッションコイルに接続する場合、車種により信号強度は大きく異なります。
2. プラグコードに2〜5回巻きつけます。巻き数を増やすと信号は強力になり、減らすと信号は弱くなります。適正な強度になるよう巻き数で調整します。
3. 本品の回転信号入力回路はほとんどの車両に適合するように設計されていますが、一部の車両では信号が強すぎて動作が不安定になることがあります。その時は付属の1MΩ抵抗をセンサー線に直列に接続します。

温度センサー

温度センサーおよびセンサーアダプター:

1. セットには水温センサーが付属しています。センサーを適切な位置へ簡単に取り付けるために冷却水ホースに割り込ませるセンサーアダプターをオプションで用意しています。
2. センサーアダプターは、切断した冷却水ホースの間にアダプタを割りこませ、付属のクランプで確実に固定します。
3. アダプタへセンサーを締め付けて固定します。



RPM: タコメーター

バーグラフタコメーターは8,000rpmおよび16,000rpmスケール切替式です。

RPM: デジタルタコメーター

1. フルスケール19,900RPMでエンジン回転数を数字で表示します。
2. エンジン回転信号はCDIまたはプラグコードのいずれから取得します。

シフトワーニング機能

1. 任意に設定したエンジン回転数でシフトワーニング警告LEDを点灯させギアチェンジのタイミングやオーバーレブを知らせる機能です。
2. 警告LEDはエンジン回転数が設定回転数の1000rpm手前になると緑色に点灯します。次に設定回転数の500rpm手前でオレンジ色になり、設定回転数に達すると赤色の点滅になると同時にバーグラフタコメーターも点滅します。

MAX RPM: 最高エンジン回転数表示

前回リセットしてからの最高エンジン回転数を表示します。

SPD: スピードメーター

フルスケール399.9km/h(マイル表示では248.5M/h)で速度を表示します。

MAX: 最高速度表示

前回リセットしてからの最高速度を表示します。

AVG: 平均速度表示

前回リセットしてからの平均速度を表示します。

TRIP1&2: トリップメーター1&2

前回リセットしてからの走行距離を表示します。1と2は独立して動作します。

ODO: オドメーター

1. メーターを使用し始めてからの総走行距離を表示します。
2. オドメーターは総走行距離30km未満の場合に限り、任意値への調整が可能です。

RT: ライディングタイム

1. 前回リセットしてからの走行時間を表示します。
2. 走行を開始すると自動的に積算を開始します。

TT: トータルタイム

1. メーターを使用し始めてからの総走行時間を表示します。
2. トータルタイムはリセットすることはできません。

時計

現在の時刻を12時間制または24時間制で表示します。

バーグラフ温度計:

1. 水温(または油温)を7段階のバーグラフで表示します。
2. 下から4番目のバーが、設定した警告温度の-15°Cで点灯するように自動セットされます。バー1つは15°Cを表します。

°C/°F: デジタル温度計

1. 数字で水温(油温)を表示します。ただし、温度が50°C(122°F)より低い場合、-L-°C(-L-°F)を表示します。また、温度が180°C(356°F)より高い場合、+H-°C(+H-°F)を表示します。
2. 水温(油温)が設定された値を超えると、強制的に液晶画面はこのモードに切り替わり、温度警告LEDと温度表示が点滅します。この時、MODEボタンは無効となり他のモードに切り替えることが出来なくなりますが、温度が設定値以下に下がると復帰します。

MAX °C/°F: 最高温度表示

前回リセットしてからの最高温度を表示します。

Volt: デジタル電圧計

車両の電源電圧を数字でリアルタイム表示します。

バーグラフ燃料計

1. フューエルセンサー抵抗値は100、250、510Ωより選択が可能です。使用しない場合は機能をOFFすることができます。
2. ガソリン残量を8段階のバーグラフで表示します。
3. 最後の1段階は一番下のバーの点滅で表示します。

ボタン操作

MODEボタン

MODEボタンを押すごとに全ての機能が順番に表示されます。



リセットボタン

1. リセットしたい数値が表示されている状態で2秒間RESETボタンを長押しするとその数値を0にリセットすることが出来ます。
2. TRIP2、最高速度・回転数、最高温度は、それぞれ単独でリセットすることが可能です。TRIP1、平均速度、ライディングタイムはいずれかをリセットした時点で残りの2機能も同時にリセットされます。
3. オドメーター、時計およびトータルタイムはリセットできません。

シフトワーニング回転数設定の方法

1. エンジンをつけ、MODEボタンを押してデジタルタコメーターを表示させます。
2. スロットルを回し、警告したい回転数までエンジン回転数を上げ、そのままの状態でもう一度RESETボタンを押してください。
3. RESETボタンを押したときの回転数がシフトワーニング回転数としてセットされます。
4. 再び回転数を変更する場合は1.の状態でもう一度RESETボタンを長押ししてください。

温度警告

1. 水温(油温)が設定された値を超えると、警告のために液晶画面は自動的にデジタル温度計に切り替わり、温度警告LEDと温度表示が点滅します。
2. この時、MODEボタンは無効となり他のモードに切り替えることが出来なくなります。
3. 温度が設定値以下に下がると元の状態に戻ります。

スピードメーター設定値の計算方法

1. メーターワイヤーセンサーを使用する場合

- ・前輪タイヤが接地している部分の真ん中に印をつけます。
- ・今付いているメーターからスピードメーターワイヤーを外します。
- ・ワイヤーの中心部分が360度回転するまで車両をまっすぐ進めます。
- ・最初に印をつけた位置から車両がどれくらい進んだかをmmで測定します。
- ・この数値を設定値として使用します。

※工場出荷時、メーターに設定されている初期値は715mm(JIS規格値)となっています。

2. リードスイッチ(マグネットセンサー)を使用する場合

- ・タイヤの外周長(mm単位)がそのまま設定値となります。
- ・計算で算出する場合は、タイヤ直径(mm)×3.1416=設定値(mm)となります。
- ・この場合のタイヤ直径はホイールサイズではなくタイヤを含めた直径であることに注意して下さい。

時計、タコメーター、タイヤ外周長、単位、温度および燃料メータの設定

1. セットアップモードでは現在時刻、12/24時間制切替、タコメーターフルスケールの切替、シフトワーニング警告回転数、タコメーターバルス数、タイヤ外周長、使用単位、オドメーター初期値、温度単位および警告温度、フューエルセンサー抵抗値の各設定を変更可能です。このモードで75秒間全くボタン操作が無い場合には自動的に通常モードへ戻ります。
2. セットアップモードに入るためにはMODEボタンとRESETボタンを同時に2秒間長押しします。
3. セットアップモードの中では、MODEボタンを押す度に設定する項目が移動します。設定される項目は画面上で点滅しています。この状態でRESETボタンを押すと項目の数字が増えたり、単位が変更されたりします。どの画面からでもMODEボタンの2秒間長押しで通常モードへ戻ります。
4. セットアップモードは「12/24H」および「XX:XX-XX」画面から始まります。12/24時間制を選択して、時計を「時」/「分」と順番に設定します。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
5. 次にタコメーターフルスケール切替え画面になります。RESETボタンを押すたびにタコメーターのフルスケールが8,000rpm/16,000rpmに切り替わります。車両のエンジン特性に合わせて設定します。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
6. 次に「RPM rXXX00」画面になります。シフトワーニング回転数を順番に設定します。設定可能な最高回転数はフルスケール8,000rpm時は9900rpm、16,000rpmのときは19,900rpmです。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
7. 次に「SPC-XX RPM」画面になります。初期設定値は1.0です。設定には1.0、2.0、3.0および0.5の4種類があります。この数値は、1点火信号当たりのエンジン回転数を意味します。例えば、エンジン2回転あたり1回の点火信号が発生する車両に装着する場合の設定値は2.0となります。RESETボタンを押すたびに設定値が順番に変わります。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
8. 次に「eXXXX」画面になります。タイヤ外周長を設定します。4つの数字は外周長をmmで表しています。MODEボタンで1ケタずつ移動させながらRESETボタンで数値を設定します。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
9. 次に単位設定画面になります。RESETボタンを押すたびにKm/hとMPHが切り替わります。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
10. 次に「ODO&00000X km」画面になります。以前使用していたメーターの距離を引き継ぐためにオドメーターの初期値を設定できます。MODEボタンで1ケタずつ移動させながらRESETボタンで数値を設定します。なお、オドメーターがテスト走行などにより30kmをこえるか、設定で30kmを超える初期値を設定した場合、この画面はセットアップモードから無くなり再設定できなくなります。オドメーターはリセットできませんので、初期値の設定は間違いないよう慎重に行ってください。完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
11. 次に温度計設定画面になります。RESETボタンを押すたびに「°C」「°F」とOFFに切り替わります。OFFにセットすると温度計機能を使用しない設定となります。再び°Cまたは°Fにセットすると温度計機能を使用する次の画面に移動します。
12. 次に「XXX」と11で選んだ温度単位を表示します。11でOFFを選択した場合、この項目は表示されません。警告温度を順番に設定します。MODEボタンで1ケタずつ移動させながらRESETボタンで数値を設定します。完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
13. 次に燃料計設定画面になります。RESETボタンを押すたびに100r、250r、510rとOFFに切り替わります。取り付ける車両のフューエルセンサー抵抗値にあわせていずれかを選択します。OFFにセットすると燃料計機能を使用しない設定となります。再び100r、250rまたは510rにセットすると燃料計機能を使用することが出来ます。完了したらMODEボタンを押すと4.0画面に移動します。

